

企業価値向上に向けた取り組み

－ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応－

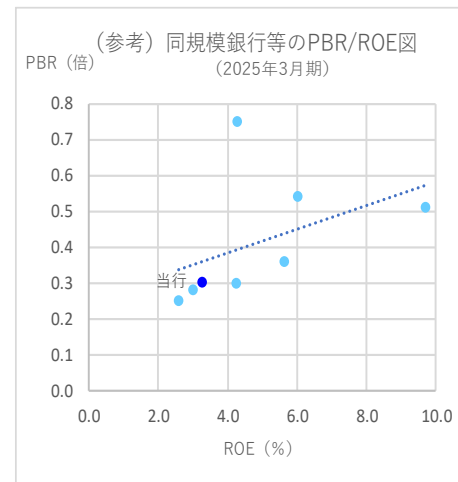
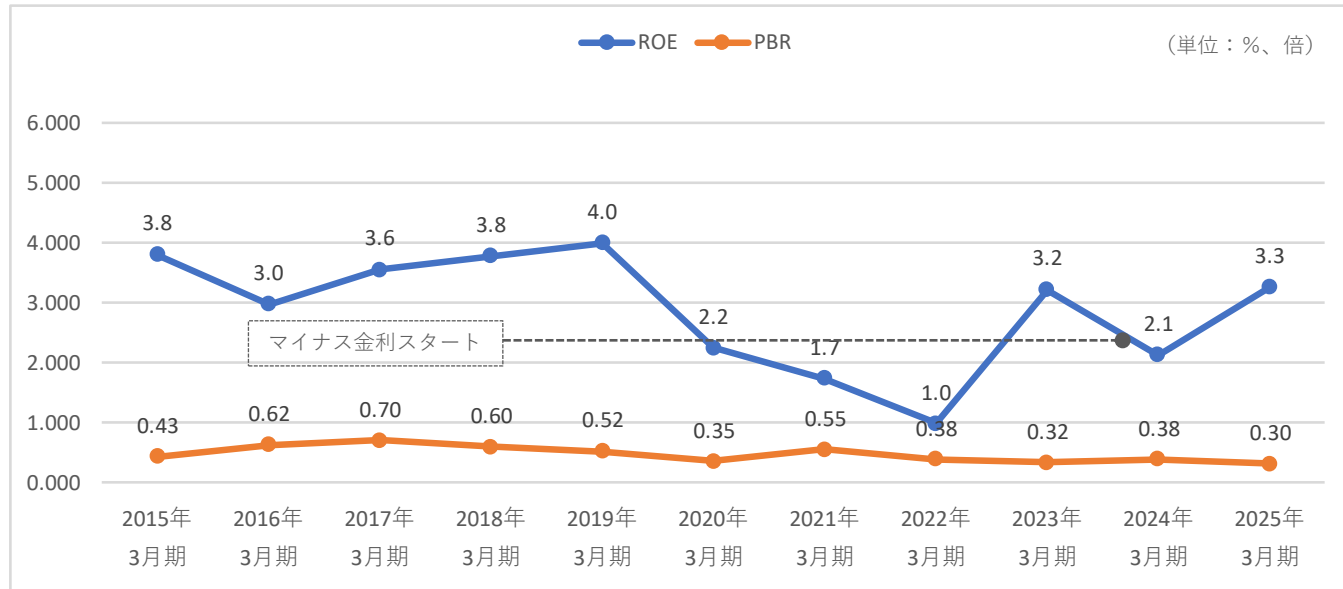
2025.6



<https://www.toyamabank.co.jp/>

企業価値向上に向けた取り組み ～現状認識

- ・金融経済環境が大きく変化するなか、トップライン収益力の強化、効率的な経営の実践に取り組むも、PBRは低水準で推移
- ・ROEの向上と株主資本コストの抑制（PERの向上）に向けた取り組みに注力



企業価値向上に向けた取り組み ～PBRロジックツリー

・第7次中期経営計画（2024年度～2028年度）遂行によるPBRの改善

- RORAを意識し収益力を向上させるとともに、自己資本水準の適正なコントロールによりROEの向上を図る
- 地域の課題解決等を通じて地域経済を活性化し、持続的な利益成長を実現。期待成長率を向上させ、株主資本コストの抑制を図る

PBRの計算式

$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER}$$
$$= \text{ROE} \div \left(\frac{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}{\text{（広義の株主資本コスト）}} \right)$$

株主資本コストの現状認識

当行では、株主資本コストを8%程度と認識

2023年度末の株主資本コスト （CAPMに基づき当行独自で算定）	8%程度
--------------------------------------	------

企業価値向上
（中計最終年
PBR0.5倍以上）

ROE向上
（2025/3末：3.3%
中計最終年：3.1%）

収益力の向上
（RORAの改善）

- ・リスク・アセットの効率的な入れ替え
- ・ソリューション関係手数料を軸とした収益の向上

×

自己資本比率の
コントロール

- ・財務レバレッジコントロール
- ・自己資本比率8%台維持

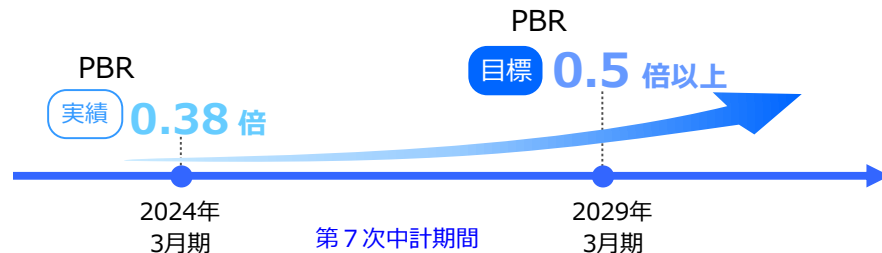
広義の株主資本コスト
の抑制
（6%以下を目指す）

期待成長率の向上

- ・本業を通じた地域貢献と課題解決による持続的な成長
- ・非財務情報を含めた開示の充実
（環境配慮型経営、人的資本経営 など）

企業価値向上に向けた取り組み ～今後の具体的取組み

- 第7次中期経営計画（2024年度～2028年度）に掲げる重点戦略を実現することで企業価値を向上させる
向上に向けたロードマップ



第7次中期経営計画 重点戦略		
収益力の向上 (RORAの改善)	トップラインおよび 課題解決力の強化	融資・リソリューション リテール 地域商社 市場運用力
自己資本比率の コントロール	経営効率の追求	店舗戦略 ムタ、ムリ、ムラの排除 新たな業務プロセスの確立
期待成長率の向上	人的資本投資 の深化	人財ポートフォリオ 人財育成 DE&Iおよび健康経営の推進
	強固な経営基盤 の確立	ガバナンス リスク管理 コンプライアンス フィデューシャリーデューティー
	IR・ブランディング の浸透	株主価値 地域貢献